

# 自己点検(教職員編) 総合分析表

令和元年度

富士光明

幼稚園 教職員全体での集計

※個人名の記載は控えさせていただきます

氏名	項目ごとの平均ポイントを以下に記入						点数合計	
	I 保育の計画性	II 保育の在り方・幼児への対応	III 保育者としての能力や良識・適正	IV 保護者への対応	V 地域の自然や社会との関わり	VI 研修と研究		
	2.60	3.70	3.80	3.90	2.60	2.80	19.40	
	2.50	3.20	3.10	3.50	2.50	2.60	17.40	
	2.40	3.70	3.50	3.60	1.80	1.80	16.80	
	3.50	2.50	3.80	4.00	3.20	3.30	20.30	
	2.83	3.11	2.02	3.83	2.55	2.50	16.84	
	3.20	3.40	3.40	3.20	2.00	2.10	17.30	
6人	各項目の平均ポイント	2.84	3.27	3.27	3.67	2.44	2.52	108.04

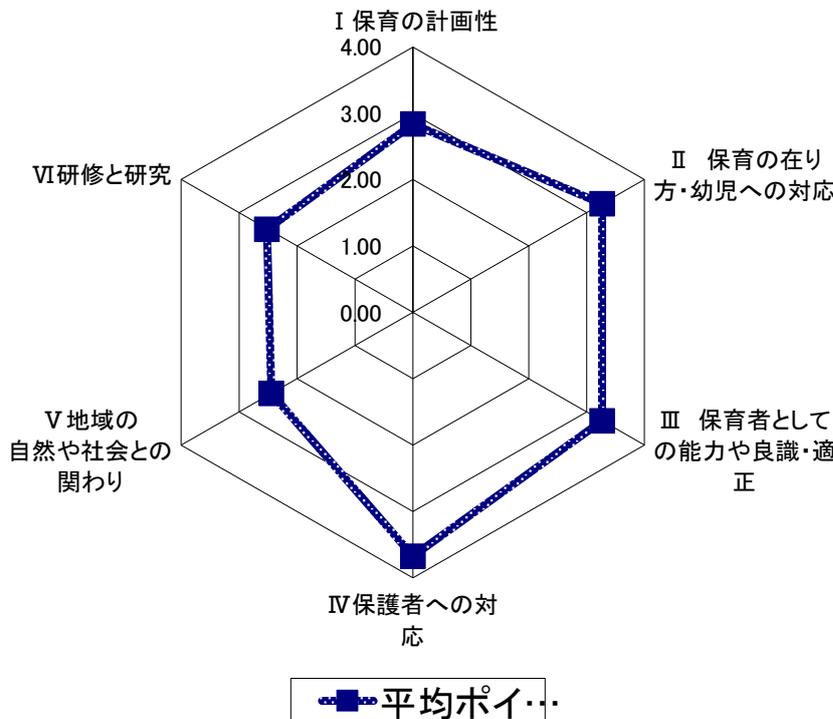
## 自己点検 総合分析表 (幼稚園の教職員全体)

今回の点数合計

**108.04**

144.00

満点の場合



100点満点  
換算で



**75.03**

※前年度より  
約3.14ポイントダウン

前年度の点数合計

**112.56**

144.00

満点の場合

100点満点  
換算で



**78.17**

令和2年3月26日

富士光明幼稚園

1 幼稚園の教育方針

1. 心も身体も健康で、優しく思いやりのある子に育てる。
2. 人とかかわりを持つ力を育成し、両親や周りの人達に感謝する心を育てる。
3. 一人一人の発達の特性に応じ、明るく、伸び伸びとした園生活を営み、遊びを通して総合的な指導を行う。
4. 日常生活に必要な言葉がわかり、自分の気持ちを言葉で表現し伝え合う喜びを味わう。
5. 豊かな感性を育て、感じたこと、考えたことを心や身体で表現する喜びを味わう。

2 教育目標

みんな仲良く元気な子  
 我慢強く最後までやり遂げる子  
 優しく思いやりのある子  
 決まりを守る子

3 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）・

園内研修・研究に努め自己向上の為の学び合える環境を整える。  
 教師各々の能力を生かせる保育を目指す努力をし、意識を高める。

4 評価項目の達成及び取組状況

教職員の自己評価点数をもとに判定

評価項目	教員自己評価 点数による 平均判定		検討後 園長 評価	理 由
① 保育の計画性	2.84	B→	A	特色あるこだわりのある園生活を楽しく笑顔で送れるよう計画を立てた。行事の時だけでなく年間を通した長いスパンで指導した。
② 保育のあり方 幼児への対応	3.27	B→	A	安全性に留意し、子ども達1人1人の個性を良い方向へ援助、対応する事が出来た。
③ 教師としての資 質、能力、適正等	3.27	B→	A	教師としての自覚を常に持ち、規律ある行動・品位ある言葉使い、言動が伴うよう意識した。
④保護者への対応	3.67	A→	A	保護者の立場になって丁寧に対応し、不安や誤解を招かないよう心掛けた。
⑤地域の自然や地域 との関わり	2.44	C→	B	中学生（学区外）の職業体験の受け入れを行った。 近隣の方々へ、バザーやどんど焼きの園行事にお誘いし、交流が出来た。

⑥研修と研究	2.52	C	A	今年こそは・・・と園内研修を実践出来教師間で学び合える場を設けることが出来た。
--------	------	---	---	---

※平均判定の表示基準

- A・・・概ね達成されている・・・・・・・・・・3.34～4.00
- B・・・ある程度達成しているが、改善余地あり・・・2.67～3.33
- C・・・取り組みされているが成果が十分でない・・・2.01～2.66
- D・・・取り組みが不十分である・・・・・・・・・・2.00 以下

5 本年度の重点課題の総合的な評価結果

園内研修の取り組みとして、教師間での公開保育を行う事が出来た。  
積極的に能力を生かせる保育を目指す努力を意識的に高められた。

6 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の計画性に伴う 保育のあり方	規定の保育はもちろん大切だけれど、教師自ら探求心を持ちアイデアや考えを出し合い主体的で対話的で、深い学びの保育が出来たら素晴らしい。有言実行・・・。

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価

令和2年3月26日

富士光明幼稚園

## 評価項目の達成及び取組状況

- A 十分達成されている
- B 達成されている
- C 取り組みされているが成果が十分でない
- D 取り組みが不十分である

評価項目	前年度		当年度			理由	関係者評価判定
	自己評価集計後平均	数値による判定	自己評価集計後平均	数値による判定	園長判定		
保育の計画性	3.01	B	2.84	B	A	特色あるこだわりのある園生活を楽しく笑顔で送れるよう計画を立てた。行事の時だけでなく年間を通した長いスパンで指導した。	A
保育のあり方 幼児への対応	3.53	A	3.27	B	A	安全性に留意し、子ども達1人1人の個性を良い方向へ援助、対応する事が出来た。	A
教師として資質 能力、適正等	3.54	A	3.27	B	A	教師としての自覚を常に持ち、規律ある行動・品位ある言葉使い、言動が伴うよう意識した。	A
保護者への対応	3.65	A	3.67	A	A	保護者の立場になって丁寧に対応し、不安や誤解を招かないよう心掛けた。	A
地域の自然や 地域との関わり	2.53	C	2.44	C	B	中学生（学区外）の職業体験の受け入れを行った。 近隣の方々へ、バザーやどんど焼きの園行事にお誘いし、交流が出来た。	B
研修と研究	2.50	C	2.52	C	A	今年こそは・・・と園内研修を実践出来教師間で学び合える場を設けることが出来た。	A

## 学校評価委員会

### 参加者

- 保護者代表 R1年度PTA役員より 代表1名
- 保護者代表 R2年度PTA役員より 代表1名
- 地域住民 卒業生保護者より 1名
- 学識経験者 英会話学校経営
- 学識経験者 体操教室 講師（委任状）
- 地域住民 厚原南区区長（今回は欠席）
- 地域住民 近隣特別養護老人ホーム施設長（今回は欠席）
- 幼稚園より 園長 十鳥ゆりか
- 幼稚園より 園長補佐 十鳥 勉
- 幼稚園より 主任 丸山 千晴

## 学校関係者評価委員による自己評価委の判定について

- 総合的に見た場合、園長の評価で良いと思う。  
毎年コメントされるが、各々の先生の自己評価は客観的に見た場合より低い数字となっている。これは謙虚さや、さらに上を見据えた向上心のあらわれと思われるのでプラスにとらえる事もできる。  
反面、自分たちの保育に自信をもち、高い点数をつけることにより、対外的に良い幼稚園であることを自ら示す気概も必要かもしれない。

## 個別の項目について(自己評価の平均点数と それに対する評価委員のコメント)

### 1. 保育の計画性 2.84

前年より若干点が下がっているが、先生個別に見れば高得点の先生もいる。「計画性」という項目の性質上、比較的他者(先輩・上司・同僚)の良いところを取り入れやすい項目と思われる。是非伸ばしてほしい。

### 2. 保育の在り方・幼児への対応 3.27

幼稚園教諭として、メインとなる項目だけに、比較的高得点であり安心できる幼稚園とみることができる。個別面談等も実施されており、子どもをよく見ていると思う。

### 3. 教師としての資質、能力、適正 3.27

自己の資質・能力・適正を自分自身で評価・数値化する、という非常に表現しにくい項目であるが、その場合でも比較的高得点をあげている。各自のプロ意識の表れと考えても良いのではないか。

### 4. 保護者への対応 3.67

年を追うごとに多様化している保護者ニーズに対し、毎年高い評価を出し続けている点は素晴らしい。また保護者の希望を受け入れる、だけでなく園としての方針や、個々の運営に対し、園長のコメントにもある「保護者の立場になって丁寧に対応、不安や誤解を招かないような心掛け」の表れかと思われる。

### 5. 地域の自然や、地域との関わり 2.44

園長より、毎年試みている地域とのかかわりとして、バザーへの招待(R1年度は台風19号のため 対外的には中止)、地区どんど焼きへの場所の提供、園の餅つきの際、近隣へふるまい餅を行っていることなどを説明。また市内のいくつかの中学よりの依頼で、職業体験の生徒を受けいれていることも報告。評価委員からは、幼稚園内だけでなく、外部との関わりがある為なかなか効果を上げるのが難しい項目だが、これだけ実施されていれば自己評価C判定をBに上げて良いのではという意見を頂いた。

### 6. 研修と研究 2.52

園長より、昨年度はなかなか実施できなかったが、令和1年度は園内研修への意欲が見られ「サイバードリーム」、「めざましあそび」をはじめ実績をあげることができたと報告。評価委員からは、個々の自己評価の点数は低めだが、園内研修の実績と、幼稚園振興協会主催の各研修会には積極的に参加しているのでA評価でも良いとの意見を頂いた。また英会話教室の先生より、次年度のサイバードリーム園内研修には、ご協力頂けるとの話があった。

## その他 学校評価委員より幼稚園への助言等

- ・ 私学としての独自性、この幼稚園の良いところ、得意分野などは積極的に外に向けて発信していく必要がある。
- ・ 毎年同じ教材を使っているとマンネリ化しやすいが、アプローチを変えるなど工夫を試みる。
- ・ こどもたちが、のびのびと楽しみながら園の活動をしているようである。遊びから入っていくので子どもたちは無理なく自然に学んでいると思う。
- ・ ねらいを明確にして、計画的な遊びからくる予定調和と、こどもたちの自由な発想と遊びを、先生がうまくサポートしてアクティブ・ラーニング的な方向性と、両方の面があると良いと思う。
- ・ 園内研修は今後もぜひ続けてほしい。
- ・ 教職員の変動が少ない。長く勤められるということは、教職員相互の信頼関係があつく、またその幼稚園の持つ温かさ故かと思う。それは園児にとっても非常に良い環境である。愛情のある幼稚園で過ごせた園児たちは心豊かな人間に育つと思う。

## 幼稚園より

本日頂いた、たくさんの温かい評価に負けないよう、教職員一同 日々努力していきたい。